



みどりの里

宇奈月小学校 学校だより
第10号
令和2年12月25日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

小さな喜びを紡ぐ



校長 内生 蔵 保 人

校舎の南側で雪吊りをされたサザンカがたくさんの赤い花を咲かせています。

86日間の例年よりも長い2学期は、今日で最後の日を迎えました。子供たちは、毎日元気に登校し、手指消毒や手洗いをし、三密を避けつつ、マスクをつけて学校生活を送りました。

運動会や宿泊学習、遠足など、1学期から移行した行事も無事に行うことができ、子供たちの大きな成長と豊かな思い出につながったものと考えています。

校舎南側のサザンカ 日々の検温やマスクの準備、メディアコントロールデーのご協力など、子供たちの健康で安全・安心な生活に対するご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。友達と距離をあげ、前を向いて静かに給食を食べるなど、新たな生活様式の中で育つ子供たちにも朗らかな笑顔が毎日見られ、これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。

さて、今年では世界中で様々な制約や弊害が発生し、たくさんの忍耐や諦める気持ちが必要になる場面が多くありました。その一例として、6年生の宿泊学習について振り返ります。6年生は国立立山青少年自然の家で、一泊二日の学習に取り組みました。例年であれば子供たちにとっての魅力の一つはバイキング形式の食事でした。好きなものを好きなだけ、友達とわいわい楽しく食べることができる時間は和やかで幸せなものでした。

しかし、今年度はバイキング形式の食事提供はありませんでした。個々に弁当を配布し、座席を空けて食べることとなりました。例年のにぎわいを知る教師にとっては、食事の時間が大変さみしく、不憫に思いました。バイキングがあったらなあ…、みんなでわいわい食べることができたらなあ…と、食事の時間を眺めていました。すると、多くの子供たちは、配られた弁当のふたをそっと空け、すき間から中をのぞき、おかずを確認すると自然に笑顔になりました。バイキングのような大きな喜びはないかもしれませんが、子供たちの中には、おかずを予想して楽しんだり、好きなものが入っているだけでちょっぴりうれしくなったりする小さな喜びがありました。ときに大人の経験値は子供の前向きで純粋な心に気付くことを邪魔することがあります。



- ・友達と一緒にいることが幸せ
- ・学校や家を離れ、この場所にいることが幸せ
- ・家で一緒に料理を作って食べたことが幸せ
- ・一緒に黙って読書した時間が幸せ
- ・習ってないけど、この漢字読めたよ
- ・九九、縄跳び、できるようになったよ
- ・大きなスコップを使って一緒に除雪ができるようになったよ

制約や忍耐の中では、どうしても無いものやできないことを嘆いたり、次のステップへの願いが強くなったりすることが多くなります。学校評価アンケートで、1年生の保護者の方から以下のような感想をいただきました。

「親子給食では上学年の子供たちが盛り付けをお世話してくれました。こうした関わり合いの中で、上の子が下の子を思いやる気持ちや下の子が上の子を慕う気持ちが育まれていいるんだなと思いました。」

できたことに感謝し、小さな喜びを見つけて紡ぐことができる学校でありたいと思います。来年もどうぞよろしくお祈りします。

保護者アンケートより

本校では、学校の教育活動に対して保護者の方々から年間2回ご意見をいただき、学校改善に努めています。第2回目のアンケートを12月に実施し、たくさんの貴重なご意見をいただきました。

以下は、いただいた内容をまとめたものです。○はよい点、●は要望や気になる点、☆は学校の取組等を表しています。

I 学校の教育活動に対して	
(1) 学校教育の充実	
○	体験学習や校外学習は、地域の方々と関わるチャンスでもあり、刺激のある授業だと思うので、今後も継続してほしい。
○	コロナ禍だが、学校行事をいろいろ対策しながら取り入れていただきありがたい。
●	字を書く姿勢が悪い。学校でも注意してもらえると助かる。
●	異学年とのさつまいもの苗植え、収穫、家に持ち帰り調理するなど楽しみしていたので、なくなってしまい残念である。
●	学校の手作り給食を続けてほしい。
●	例年通りの行事をするのであれば、どんなコロナ禍対策をするのか、学校からのお知らせがほしい。親としては不安である。
●	コロナ禍であり、行事のやり方に変更や縮小をせざるを得ないことがあるが、一律の中止はできるだけやめてほしい。子供たちが納得できるようにやり方を工夫したり、可能性をなくしたりしないでほしい。
●	行事を今までと同じようにしたいのは学校だけではないか。それが本当に子供たちのためとなっているのか疑問である。やるのはよいが、簡素化する工夫をするのが今だと思う。
●	2学期は連続して次々に行事があったこともあり、先生方も子供も全体的に落ち着かない慌ただしい感じがした。他校に合わせることはないと思うが、必要に合わせ、様子を見ながら行事の吟味が必要である。
●	コロナでの休校期間中、オンラインでの授業やコミュニケーションがとれるようにもっと動いてほしかった。
☆	<p>【学校行事について】</p> <p>・コロナ禍に関連したご意見が多くあげられました。学校行事は実施月を変更したり、内容を変更したりしながら実施しました。コロナ対策を考慮しながら実施しましたが、対策内容の事前のお知らせが不足していたものもありました。3学期はスキー練習会を実施します。この後現地に下見に行き、対策を考え、スキー練習会のしおりにてお知らせいたします。子供たちのために、必要な準備をしっかりとって、行事を実施していきたいと考えています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>

(2) 学校と家庭の連携	
○	学校のホームページで毎日の学校の様子を知ることができるので、楽しみにしている。
○	各種おたよりを楽しみにしている。子供はいつも学校であったことを教えてくれる。おたよりを見ながら話をするのも楽しい。
○	下校時刻をネットで見るできるようになり、ありがたい。
○	QRコードを使ったアンケート等、ペーパーレスがよいと思う。配布、印刷の手間など、学校の負担も少なくなるので、今後も様子を見て変えていくのもよいと思う。
○	PTAの親子活動が実施できてよかった。
●	保護者アンケートをWeb化して、フリートークができるようになるとうよい。子育ての悩みが相談でき、保護者同士交流ができる。
●	1～6年生のスケジュールが毎月一枚の紙にまとめてあるとうよい。
●	12月に資源回収は寒い。インフルエンザの時期にもなるし、雪も降る年もあると思う。
●	PTAの連絡事項等をメールでいただけ、やりとりができるとう助かる。
●	コロナ禍であり、宇奈月小誕生15年の大々的なイベントをする必要があったのか疑問である。
●	PTAの会合はWeb会議をもっと取り入れるとう他の保護者も参加しやすくなるのではないかと思う。
●	児童数が著しく減少している地区では、PTA役員を複数回引き受ける人が増えて負担が大きくなっているとうので、適切な配分になるとうお願いしたい。

☆	<p>【おたより等の配信】</p> <p>・学校から配信する情報をいつもご確認いただきありがとうございます。学校からの各種おたよりやホームページ、各学年のおたよりや連絡帳等が親子の会話のきっかけになっていることを大変うれしく思います。保護者の皆様が確認しやすいように配信の仕方を工夫していきたいと思ひます。</p> <p>【PTA活動】</p> <p>・1学期のPTAの会合はリモートで開催されました。可能な手段を考えて、画面ごしではあります顔面を合わせ、伝達、協議する場を設けていただいたことに感謝いたします。PTA行事については、今年度の反省を基に見直しを図っていくこととなります。PTA役員の数については取り決めがありますが、今後の会員数の変動に応じて相談していきたいと思ひます。</p>
---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 健康・安全な学校生活の充実・・・新型コロナウイルス感染症対策等の対応等	
○	マスクの着用、手洗い、消毒、換気等徹底されているので、安心して登校させることができる。
○	熊等の子供に危険が及ぶ情報は助かっている。
○	感染症対策はもちろん「不安」や「差別」などについても取り上げていただきよかった。
●	バス乗車のルール等の決定事項を保護者にも知らせてほしい。
●	冬期のインフルエンザ、新型コロナウイルスに対しての対策を今一度徹底してほしい。
●	運動会の際に、部外者が受付もせずに入ってきていた。徹底してほしい。
●	コロナに対しての危機感があまり感じられない。子供から休み時間等の話は聞くが、密になっている。学校側がどのような対応をしているか分からない。検温とマスク着用だけでよいのか。
☆	<p>【ウイルス感染症対策】</p> <p>・保護者の皆様には、朝の健康チェック及び検温へのご協力ありがとうございます。引き続きご協力のほど、よろしくお願ひいたします。コロナ対策への意識が高まるように、毎週金曜日に職員及び児童がチェックカードに取り組み、対策への意識や態度を振り返っています。冬場の休み時間が密にならないように、生活科教室に机を配置しました。友達とボードゲーム等で交流したり、電車の待ち時間に学習したりしています。今後パーテーションの数を増やしていく予定です。ウイルス対策等で気になることがありましたら、学校までお知らせください。</p>

(4) 子供の交友関係、トラブルやいじめへの対応等	
○	友達が遊びに来ることがあるが、礼儀がしっかりしており、友達同士の会話もよく、悪いことは悪いと注意し合える仲になっている。ゲームだけではなく、外遊びも楽しんでいる。
○	トラブルがあった時、先生がすぐに対応してくれていることを子供から聞いているので安心している。
●	子供のトラブルやいじめ等で気になることがあれば知らせてほしい。
●	子供同士の間では力関係がなく、どの子とも何でも言い合える雰囲気をつくっていくような関わり方をしてほしい。
●	高学年になり友達との付き合い方で難しいと感じることが増えてきた。いじめ等につながってほしくないが、親がどこまで言ってよいものか悩んでいる。先生も一人一人の性格を見て関わってくださいとありがたい。
●	いじめのアンケートについて、「いじめられている」という問いかけも必要だが、「いじめているかもしれない」という問いかけも、いじめをなくす（防ぐ）ためのきっかけになると思う。
☆	<p>【生活アンケートの実施】</p> <p>・毎月子供たちに生活アンケートを実施し、悩みやトラブルにはすぐに対応しているところです。高学年になると、友達との付き合い方で悩むことも多いと思ひます。一人で悩まず、相談しやすい人に話すこと、パンフレットやカードを配布し相談機関等にSOSを出すこともできることを日頃から話しています。お子さんの様子で気になることがありましたら、気軽にご相談いただければと思ひます。</p>

2 家庭のお子さんの様子から	
(1) 家庭学習の習慣付け（勉強こつこつ）	
【低学年】	
○	上級生のこつこつノートを見せてもらってからは、いろいろな学習を試みようと思ひが高まった。

○	宿題が少ない時は、多めにこつこつノートをしよとがんばっている。内容的には手っ取り早く終わらせるようなものもあるが、今はやる内容を自分で決めて取り組んでいるので、その姿勢を尊重したいと思い、見守っている。
●	こつこつノートの書き方を指導してほしい。
●	こつこつノートは毎日がんばっている。ただ、ページをたくさんすることに一生懸命になり、内容がおろそかになっている。
【中学年】	
○	こつこつノートを毎日何ページすると決めて、達成できるとうれしそうである。テストの前日には復習をして、「テストがんばる」と意欲的である。
○	準備してある学習プリントやドリルを活用したり、自身でも学習してみたいことをこつこつノートに書いたりするようになった。
●	なかなか学習の習慣が身に付かず、宿題をやるのが精一杯である。漢字を忘れていたり、習ったことを思い出せなかったりしている様子があり、教科書を見て調べるように促しているが、授業の集中具合が心配である。
●	こつこつノートは自習なので、ドリルで勉強してもよいのではないかと。こつこつノートを強要するのであれば、学校で活用方法を子供が自分でできるように教えてほしい。
【高学年】	
○	自分の苦手なことを見直すように学習していることは、よいことだと思う。
○	進んでこつこつをしている。今までの習慣のおかげだと思っている。
○	本を読むようになり、感想を教えてくれる。親もその本を読んでみようと思ってしまう。復習のためか、日本史の嫌いな母のためか、習った歴史を問題として出してくる。
●	家庭学習の習慣を身に付けるまでに至っていない。ゲームやTV、タブレットに時間をとられている感じがする。
●	本はもちろん漫画でさえあまり読まない。せめて、漫画で活字に触れてほしい。
☆	【家庭学習の習慣】 ・11月のフリー参観日に「家庭学習の手引き&こつこつノートの取り組み例」を配布しました。再度ご覧になっていただき、お子さんのできることから取り組んでみてください。お手元にないようでしたら、担任までご連絡ください。学校では、自分に必要な学習や自分の興味に沿った学習に取り組んでほしいと考えています。取組の参考になれば11月に校内こつこつノート展を開催し、下級生が上級生のよさを学ぶ機会をもちました。保護者の皆様の家庭での温かな声かけや取組についてのアドバイスなど、ご協力をぜひお願いいたします。
	【読書の推進】 ・11月の読書月間には、地域のお話たんぽぽのみなさんの読み聞かせを実施しました。大型絵本による地域の民話や文学作品の読み聞かせに子供たちは聞き入っていました。親子読書のご協力ありがとうございました。同じ本を親子で共有して読んだり、同じ時間に家族そろってTVを消して読書をしたりと家族で工夫しながら読書を進めていただきました。これからも様々な本に触れる機会をつくり、一層本に親しむ習慣や態度が身に付くようにしたいと考えています。

(2) 家族の触れ合い（触れ合いたっぷり）

【低学年】	
○	学校での出来事を家でよく話してくれる。
○	1年生の時からのお手伝いが今も継続できている。
●	家での言葉遣いの悪さが気になる。
【中学年】	
○	毎日「ってきます」「ただいま」などのあいさつを必ず言ってくれる。
○	タブレットの時間を家族で決めた。終わると閉じて、家族で会話を楽しんでいる。
○	机の片付けや金魚のお世話など、自分でやると思ったことはきちんと続けている。
●	小さい頃は「お手伝いして」とお願いすると「いいよ」とすぐ返事をして手伝ってくれたが、今はおこづかいがないとしてくれないことが多くて困っている。
【高学年】	
○	家庭で料理をするようになって、土、日の朝にホットケーキや卵焼きなど自ら作ってくれる。触れ合いながら一緒に楽しんで作っていただけたらと思う。
○	一家団欒を大事にし、なるべく家族全員で食事をしている。その日にあったことを話すなど、会話と笑うことを大切にしている。

○	洗濯物を毎日たたんでいる。山のような洗濯物もあつという間にお店屋さんのようにたたんでくれる。休校の時から本人の仕事となり、毎日続けているうちに上手になったと思う。
●	平気で親にうそを付くようになり、隠し事も増え、今特に家族でゆっくり話をする時間をつくっていかねばならないと感じている。
☆	<p>【温かな言葉かけ】</p> <p>・学校では、「あさがおさいた運動」を推進し、周りの人への温かな言葉かけや挨拶を大切にしています。11月の人権週間には、友達によさやがんばり、友達からされてうれしかったことをあさがおさいたカードに書き、紹介し合いました。ぜひ、ご家庭でも「ありがとう、さようなら、がんばったね、おはよう、おめでとう、さすがすごいね、いいよ、だいじょうぶ」などの相手がうれしくなる声かけや挨拶に家族みんなで取り組んでいただければありがたいです。</p>

(3) 規則正しい生活リズム (けじめしっかり)

【低学年】

- 水曜日はメディアコントロールデーを守っている。
- 学校保健委員会の山田先生のお話から、ゲームの時間を気を付けるようになった。
- 何もすることがないと動画を見ている時間が多い。触れ合いの時間を大切にしようと思うが、なかなかできない。
- 視力低下は親のせいだと実感し、厳しくゲームやメディアの付き合い方を家族で考えなければいけない。
- 片付けができず、提出物をなくすことがある。

【中学年】

- 平日はゲームをしない約束を守っている。
- 学校に行く準備がとて早くできるようになった。
- 学校保健委員会でメディアの話聞いて、ゲーム依存症の恐さを感じたようだ。学校での話が効果的よかった。
- ゲームで友達とつながるとずっとしてしまうので、時間を守ってほしい。
- ゲーム、メディアとの付き合い方は様々だが、同じ子供をもつ親子さんの例や経験、意見などを聞いてみたい。
- ゲームをする時間が過剰な点が気になる。ゲーム時間の取り決めが必要である。ノーゲームデーを週2日にするとよい。

【高学年】

- 時間を決めてゲーム等をしている。
- ゲームは兄弟で共有するため、ちゃんと下の子に配慮しているのでよい。今後もその都度話をしながらルールをつくっていききたい。
- 大好きなゲームをメディアコントロールの日はしないと守り続けているのでがんばっていいなと思う。ゲーム以外の楽しみを見つけてくければいいなと思う。
- ゲーム、YouTubeの見過ぎ。見せないのも話についていけないだろうし、悩みどころである。
- ゲーム、YouTubeの視聴時間が長すぎるため、家族間の会話が減り生活が乱れる一方である。学校で決められたノーゲームデーも守らず、家庭内でもノーゲームデーをつくっているが、守られていない。

☆ 【メディアコントロールデーの実施】

・毎週水曜日は「メディアコントロールデー」とし、子供たちは学校で目当てを決めて、家庭で実践しています。メディアの時間を減らす具体策やメディアを減らした分の有効な時間の活用などの工夫をお昼の放送で紹介しています。学校保健委員会での外部講師による講演から、子供たちはメディアを長時間活用することの恐さを実感しました。メディアは有効活用すれば、とても便利で生活を豊かにすることができます。禁止ではなく、どのように上手に付き合っていけばいいのか、家庭と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。日頃のお子さんの様子や学校生活の中で気になる点がございましたら、いつでも学校にご相談ください。



募金活動へのご協力ありがとうございました



大阪屋での募金活動

12月7日(月)からの1週間で、募金活動を行いました。今回は、事前に上学年の意見を募集して、募金の方法や支援先を子供たちが考えました。

もっとたくさんの人に呼びかけたい、もっと広く多くの人に協力の輪を広げたいという思いをもち、初めて大阪屋ショップ宇奈月店での募金活動を行いました。また、支援先についても検討し、赤い羽根共同募金とユニセフ募金の両方に送りたいと考えました。夕方のやや寒い時間帯ではありましたが、子供たちの元気な「募金お願いしますーす！」の声のもと、たくさんの地域の方々にご協力いただきました。校内での募金と大阪屋さんでの募金を合わせて、96,755円の募金が集まりました。今後、黒部市社会福祉協議会やユニセフへ確実に届けます。活動場所をご提供いただいた大阪屋さんをはじめ、ご協力いただいた保護者、地域の皆様本当にありがとうございました。

書初め教室を行いました



6年生書初め教室の様子

浦山交流センターの岡田さんを講師にお招きし、それぞれの学年で書初め教室を行いました。

書き方のお手本をじっくりと見て、止めやはらい、バランスなどのポイントについて教えていただきました。自分の書き方とくらべながら練習を重ね、力強い作品となるよう、丁寧に、ときには大胆に筆を運びました。いつもはにぎやかな教室に、しんと集中する時間が流れていました。

今後の予定

1月

6日(水) 第3学期始業式、書き初め大会

22日(金) 学習参観・学年懇談会

29日(金) スキー練習会

2月

1日(月) 中学校入学説明会 13:30 明峰中

17日(水) 花とみどりの少年団解団式 なめこ植菌

26日(金) 6年生を送る会・安全パトロール隊感謝の集い



お願い

先日もご案内したように、スキー練習会でご協力いただける方を再募集しております。可能な方は1月8日(金)までお知らせください。何卒よろしく申し上げます。